

田口佳史さんに問う中国古典 【大学の道】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

己を修め、人を治める

儒家思想の本質は、「修己治人」にあると言われています。
ひとり一人が人間として自律することが、組織・社会の安泰に繋がるとするこの考え方は、個人と社会の関係を理解するうえで、いまもって有効な普遍的原理と言えるのではないのでしょうか。

なかでも『大学』は、「四書五経」の入門編として位置づけられており、1700余字の短い文章ながら、儒家思想の本質が濃縮して綴られています。この講座では、『大学』を通して社会における自己のあり方を見つめ直します。

田口 佳史

10/8金

第1回

18:30～21:30

『大学』の概論

大学の道は、明德を明らかにするに在り

はじめに、中国古典の二大思想である「儒家思想」「老荘思想」の概要を理解し、儒家思想の入門書である『大学』を学ぶ意義を確認します。次いで、『大学』の理念にあたる三綱領（「明德」「民親」「至善」）、実践段階を説く八条目（「知致」「格物」「誠意」「正心」「修身」「齐家」「治国」「平天下」）について学びます。

10/22金

第2回

18:30～21:30

修己とは何か

「独を慎む」「切する如く、磋する如く、琢する如く、磨する如く」

『大学』では、修己（自己を修めること）を第一の基本とします。それは、自分自身を律することが、最も難しいことであることの裏返しでもあります。「慎独」「切磋琢磨」など、現代でもことわざとして使われている一節を中心に、修己とは何か、何をもって自分を修めるべきかを理解します。

11/5金

第3回

18:30～21:30

維新・革新の精神

「旧邦なりと雖も、その命は維れ新たなり」

現代社会では、創造や革新の必要性が叫ばれていますが、『大学』においても、日々変化していくことを重視していました。第三回は、明治維新という名称のもとになった「維新」という概念を学ぶことで、日々新たにすること、常に新鮮な気持ちを持ち続けることの意義について認識を深めます。

11/19金

第4回

18:30～21:30

規範を持つことの意味

「中らずと雖も遠からず」「契矩の道」

規範とは、時代や体制を越えた普遍的な原理を意味します。従って、規範に忠実である限り、多少の回り道や小さな失敗はあっても、大きな過ちを犯すことはない『大学』は説いています。第四回では規範を通して、広い世界を推しはかる方法を学びます。

12/3金

第5回

18:30～21:30

物事の根本を見据える

「徳は本なり、財は末なり」「君子に大道あり」

目先の利益や成果に目が行き、すぐにできること、目に見えて変わることに心を奪われてしまうのが人間です。『大学』は、物事の根本を見据えて、本来やるべき事に注力することを繰り返し述べています。第五回は、枝葉末節に惑わされず、進むべき道を堂々と行くこと、いわば本末論を議論します。

12/17金

第6回

18:30～21:30

財政・経営の要諦

「財を生ずるに大道あり」

社会や組織のリーダーに求められる知識やスキルは、時代に応じて変化していくものですが、経営の要諦は不変です。瑣事にこだわることなく、本質を見据え、有能な人を見つけ、思い切って任せると、『大学』は説いています。真面目な人、優秀な人ほど陥りがちな過ちを含め、『大学』が説く財政・経営の要諦をつかみます。

開 催 概 要

日 程	2010年10/8、10/22、11/5、11/19、12/3、12/17(すべて金曜日)
回 数	6回
時 間	18:30 ~ 21:30 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税・教材費込)
お勧め したい方	・中国古典の思想をビジネスや人生に役立てたい方 ・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

四書五経とは

中国古典の二大思想のひとつ「儒家思想」の中でも、特に重要とされた四書(「大学」「論語」「中庸」「孟子」と五経(「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」)の総称です。中国のみならず日本においても、江戸期までは、「儒教」の教典として広く学ばれていました。

『大学』はどのようにして学ばれたか

四書五経は「素読」の繰り返しで学ばれました。ひたすら声にだして読むことで、身体に染みこませる目的があったといわれます。『大学』は短い文章に本質が凝縮されているので、子供から大人までそれぞれの段階での理解の仕方、受け止め方があり、何時でも、何度でも学ぶことができます。

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

田口 佳史(たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。

企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

●主な著書

『清く美しい流れ 日本人の生き方を取り戻す』(PHP研究所)、『会社を変える「タオ・マネジメント」のすすめ』(日新報道)、『タオ・マネジメント 老荘思想的経営論』(産調出版)、『論語の一言』(光文社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:105,000円(税込)以上の、「Agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「Agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。